

山雲水月

発行責任者 龍源寺 住職 渡辺龍道

平成28年 龍源寺年間行事予定

- 1/1~1/3 年頭祈禱・年賀受
- 1/4~1/7 年始挨拶
- ※1/10 年賀寺例
- ※2/3 大節分会
- ※2/15 釈尊涅槃会
- ※3/13 大般若会併修大施食会法要
- ※3月中旬 筆供養法要
- 3/17~3/23 春季彼岸会
- 3/23 旧蚕影山例祭日
- ※4/8 釈尊降誕会(花祭り)
- 4/29 本堂再建説明会及檀家総会
大施食会併蚕影山例祭法要
- 7/13~7/16 京浜地区檀信徒棚経
- ※7月下旬(一泊二日) 第35回子供禅の集い
- 8月上旬 夏季おてんま
- ※8/10 中元寺例
- 8/13~8/16 盂蘭盆会
- 9/19~9/25 秋季彼岸会
- 12月上旬 冬季おてんま
- ※12/8 釈尊成道会
- ※12/10 歳暮寺例
- ※12/31 除夜会
- ※毎週土・日曜日 書道教室
- ※毎週水曜日 定例坐禅会
- ※隔週水曜日 梅花講・琴教室・華道教室
- ※宗務所執務日 毎週月・水・金曜日
- ※は、御本寺仁叟寺にて開催

平成28年丙申 住職年頭挨拶

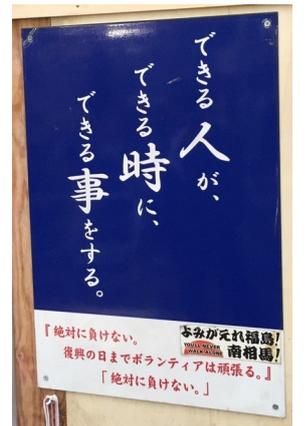
謹賀新年

「できる人が、できる時に、できる事をする。」『福島県南相馬市小高ボランティア活動センター標語』より



平成28年の年頭に当たり、本年は福島県南相馬市小高ボランティア活動センターの標語を紹介いたします。拙僧、ご縁により、東日本大震災被災地であります福島県、特に南相馬市の方々と、平成23年震災以降の支援活動より深く関わらせていただいております。そのセンターの標語が、印象に残りました。松本光雄センター長は、私財を投げ打ち、復興の為に同センターを設立された方。多数の志ある方々を受け入れ、その思いがこの標語にあるものと感じました。

当山も昨年より本堂再建についての大事業が始まりました。いま、ここ、この時、しっかりと行じていきたいものです。本年も、宜しくお願い申し上げます。合掌



平成28年 年回表

一周忌	平成二十七年	二十三回忌	平成六年
三回忌	平成二十六年	二十七回忌	平成二年
七回忌	平成二十二年	三十三回忌	昭和五十九年
十三回忌	平成十六年	五十回忌	昭和四十二年
十七回忌	平成十二年	百回忌	大正六年

- ※1 以上、各ご家庭に於いてご確認下さい。
- ※2 該当檀信徒各家には封書にて通知が届きます。(但し、百回忌を除きます)

仁叟寺通信

高崎市里山元気再生事業報告



奉仕作業役員集合写真



↑ おてんま風景（8月9日）
（もみじ山下草刈り）

仁叟寺の竹林を整備し、地元と檀信徒の方々の協力をもって行っております高崎市の補助事業、里山元気

再生事業の継続が昨年に決まりました。伐採した竹林は既に7,000本以上。その跡地には、モミジやサクラおよそ300株を植樹いたしました。なお、作業に当たっては、特に矢島巖さん、小沢昇さん、金井正男さん、加藤壮士さんに一方ならぬご尽力をいただいております。

仁叟寺総代会役員会に併せ、昨年の春に1度、夏に2度の計3回に亘り、おてんま（吉井地域の方言、共同作業や普請の意）を行いました。植樹した木々が、しっかりと根付くよう、下草刈りや篠竹刈り等の作業を総代人さん、役員さん、地元の方々と共に、汗を流しました。

当地には、歴史を物語る古墳も多数遺されており、また山内全景や上毛三山、吉井市街等が見渡せる風光明媚な場所。里山再生に相応しい「もみじ山歴史公園」に向けた整備が、着々と進められております。

自らを洲とする ～東日本大震災被災地支援～



業風景（福島県南相馬市小高地区）
← ボランティア作業

去る10月29日から30日に掛けて、福島県南相馬市に慰霊及びボランティア活動に伺って参りました。群馬県曹洞宗青年会有志9名と福島県曹洞宗青年会の会長及び副会長ほか有志、2日目は大分県の教職員有志と共に、福島県被災地域である南相馬市小高地区にて奉仕活動をさせていただきました。

今回も南相馬市の新祥寺野田精顕副住職に窓口になっていただき、作業に当たって準備を行っていただきました。有難うございました。

両日に亘って、ボランティア作業をいたしました。小高地区では、今春より避難されている住民の帰還希望者を



受け入れる為、除染作業が急ピッチで進められております。

福島県の被災地域は、特に原子力発電所事故の件もあり、復旧がまだまだな箇所が多くございます。出来る人が出来る時に出来る事を行い、微力ではありますが、これからも協力をさせていただければと考えております。

龍源寺山内整備報告



← 整備が進む龍源寺駐車場
→ 昨年十二月、境内に設置された古卒塔婆、御札、御守、位牌等のお焚き上げ場



昨年より整備が進められております龍源寺駐車場。農地転用ということもあり、早急に取り掛かっております。残土等の関係もあり、本堂再建事業と共になるよう、完成を目指しております。

また、境内地に完成しました石製の古卒塔婆等のお焚き上げ場。当山檀信徒の皆様の各家にて、古くなった卒塔婆や位牌、御札や御守等がございましたら、こちらにお持ち下さい。謹んでお焚き上げさせていただきます。

当山開基門奈家裔孫 窪田広氏より善意の紹介

4月29日恒例の大施食会兼蚕影山例祭では、歴史講演の講師をお勤めされたこともあり、またその年以降毎年、施飯を頂戴しております当山開基門奈家の裔孫窪田広様（東京）より、龍源寺本堂再建事業の一助として二百万円もの浄財の寄進がございました。浄財は、本堂前に開基塔を建立し、その顕彰と開基家の供養に勤めたく考えております。また、開基塔建立の残金を本堂再建寄付金として有難く有用に使わせていただきたく思っております。合掌

行雲流水（編集後記）

編集人 住職 渡辺龍道

明けまして、おめでとうございます。

私儀 昨年より群馬県曹洞宗青年会の会長として任に当たらせていただいております。本年は、その仕上げの年となり、平成29年の青年会創立55周年事業に向けて、更に精進をさせていただこうと思っております。同事業は、宗務所様、梅花部様と協力して修行する「梅花授戒会」と「現代名僧墨蹟展」の二つがその柱となります。

亦、昨年より長年に亘り話し合いを重ねてきました当山の大事業が始まりました。しっかりとお勤めさせていただきますので、檀信徒の皆様始め関係各位の温かいご協力を、引き続き宜しくお願い申し上げます。



↑ 昨年7月より境内にいた猫が家族になりました